

ごとう

編集・発行／五島市議会広報特別委員会
五島市福江町1番1号 TEL.0959-72-7923



満開の桜の木にとまるメジロのさえずりが
暖かい春の訪れを感じさせる

(写真は西日本新聞社提供)

目

次

平成24年度当初予算内訳	P 2
平成24年度当初予算主要事業	P 3
市政を問う（一般質問）	P 5
委員会審査	P 12
請願採択、編集後記	P 14

人に優しい行政サービスと安心して暮らせるまちづくりのための予算

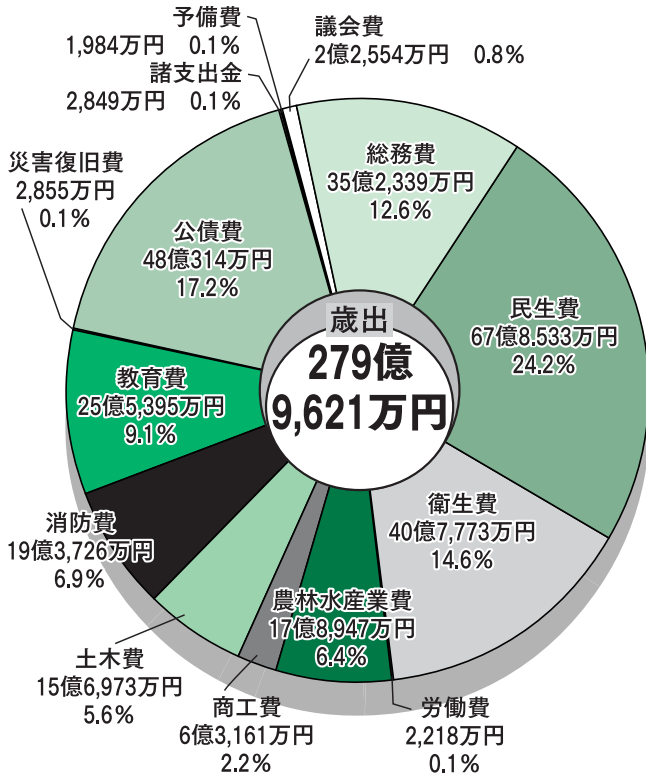
総額422億円

一般会計 280億円 (前年度比0.9%増)

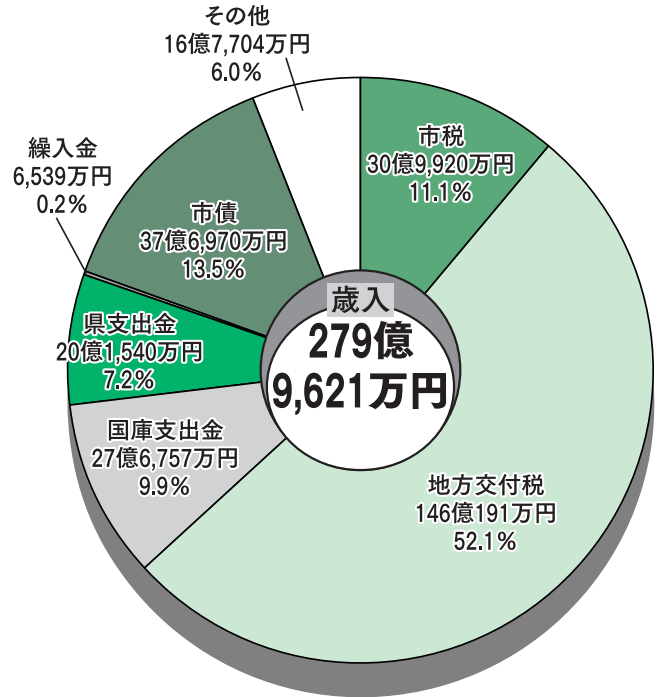
特別会計 142億円 (前年度比1.2%減)

平成24年度当初予算を可決

一般会計歳出



一般会計歳入



会計区分	平成24年度予算額	平成23年度予算額	比較増減額	前年度比
一般会計	279億9,621万円	277億5,400万円	2億4,221万円	0.9%
特別会計	414億7,358万円	143億4,641万円	△1億7,283万円	△1.2%
国民健康保険事業	69億9,790万円	69億2,031万円	7,759万円	1.1%
介護保険事業	57億2,120万円	57億1,210万円	910万円	0.2%
後期高齢者医療	4億7,161万円	4億2,757万円	4,404万円	10.3%
診療所事業	9,458万円	1億1,988万円	△2,530万円	△21.1%
簡易水道事業	7億3,064万円	9億6,007万円	△2億2,943万円	△23.9%
と畜場事業	1,737万円	1,350万円	387万円	28.7%
大浜財産区	1,420万円	1,593万円	△173万円	△10.9%
本山財産区	238万円	874万円	△636万円	△72.8%
下水道事業	940万円	934万円	6万円	0.6%
公設小売市場事業	458万円	461万円	△3万円	△0.6%
港湾整備事業	2,483万円	2,480万円	3万円	0.1%
交通船事業	7,335万円	7,591万円	△256万円	△3.4%
土地取得事業	1,154万円	5,365万円	△4,211万円	△78.5%
企業会計				
水道				
収益的収入	5億6,049万円	5億5,434万円	615万円	1.1%
資本的収入	1,523万円	1,314万円	209万円	15.9%
収益的支出	5億4,459万円	5億4,382万円	77万円	0.1%
資本的支出	2億4,319万円	2億3,140万円	1,179万円	5.1%

※ () は対前年度比。△はマイナス。

今年度予定の主な事業

協働のまちづくり事業

300万円

市民が主体的に取り組む公共性、公益性の高いまちづくり活動に対して一団体当たり、補助対象事業費の10分の9以内で三十万円を限度とした補助金を交付する。

自主放送番組制作・放送経費

3千552万7千円

平成十九年十月一日から本格放送を開始している自主制作番組について、制作業務を委託する。

なお、ごとうチャンネルの市内業者への放送委託により市内全域への情報提供に努める。

Uターン促進事業

252万7千円

本市に定住を考えているUターン希望者への受入体制を総合的に確立し、定住促進を通じて地域活性化を図る。

なお、平成二十三年の実績は、相談件数が百十件で、Uターンが三世帯三名、Uター

中継局舎等の工事を実施する。

福江大火50周年記念事業

371万円

昭和三十七年九月二十六日に発生した福江大火から50周年の節目にあたり、記念式典をはじめとする事業を予定している。

難病患者等日常生活用具給付事業

33万円

市内の二十歳以上の難病登録患者数三百六十三人のうち、二百三十八人が在宅で生活するための日常生活用具の給付を受けることができないうため、日常生活の便宜を図ることを目的に事業を実施する。



福江大火49周年記念の集い

小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業

26万6千円

概ね十八歳未満の障害者手帳を持たない難病患者に対して、日常生活用具を給付する事業を実施する。

二次離島歯科診療用医療機器整備費補助金

433万2千円

二次離島において歯科診療を行う事業者に対して、高額となる歯科用医療機器の整備に係る費用を助成する。



奈留歯科医院

**成年後見人制度
利用支援事業**

57万6千円

知的障がい者、または精神障がい者で判断能力が不十分な者が、日常生活を営む上で支障がないよう「成年後見人制度」利用促進のための支援制度の創設を行う。

**就学相談員配置
事業**

298万7千円

特別な教育的配慮を必要とする児童生徒の就学相談の充実を図るために、就学相談員を配置する。

**肉用子牛輸送費
補助金**

390万円

購買者の定着、子牛価格の高位維持のため、島外購買者へ子牛輸送費を助成する。
内訳は、一頭当たり千五百円で、二千六百頭の予算を計上。

**産地水産業強化
支援事業**

2億2千899万5千円

水産業の健全な発展と水産物の安定供給の確保を目指し、漁業者が定住し漁業が存続できる漁村を形成させ、六次産業化を通じて漁業者の所得向上を図る。

**浄化槽設置整備
事業**

8千782万円

国の補助金を受けて市が浄化槽設置者に対して補助を実施する。
二十四年度からは整備費が割高な二次離島に格差を是正するため、補助金の増額を行う。

奥浦港浮棧橋改修

700万円

現在の棧橋は設置から三十六年が経過し、チェーンも過去数回切断して補修している状況にあり、台風時などに停泊中のフェリーがポンツーンとともに激しく揺さぶられると、連絡橋が破損するおそれがあることから、チェーンの取り替えを行う。

**保育所等地域活動
助事業費補助金
(一時保育事業)**

150万円

二十一年度から保育所のみで実施していた一時保育事業が保育所以外の民間会社等に広く開放されて一時預かり事業が開始されたが、一時預かり事業へ移行したのは福江地区の二カ所のみだったため、二十四年度は、地域の実情を考慮し、未実施地域の保育所に限定して新たに補助を行う。



**住宅・店舗リフト
リフォーム助成事業**

1千万円

住宅または店舗のリフトリフォームを行う個人または法人に対し助成を行うことにより、建築工事の需要を喚起し地域経済の活性化を図る。
内訳は、十万円を限度額とし、百件の予算を計上。



改修予定の奥浦港浮棧橋

一般質問

市政を問う



平成24年3月定例会は、3月5日から3月26日までの22日間の日程で開催された。一般質問は3月8日から3月12日の3日間行われ、14人の議員が登壇し活発な論議が展開された。

(議員写真は西日本新聞社提供)

質問 ①五島産タカナは、名実ともに日本一と考えるが、優良農地が不足していることから産地拡大への取り組みをすべきでは。
②タカナ日本一とはいえ、そのアピールもなく、一次加工用タンクも半分以下の能力であるが、六次産業化も含めどのように考えるか



タカナ収穫の様子

また、ごみの資源化に伴い、リサイクルセンターが果たす役割は重要となることから必要に応じて拡充させていきたい。

菊谷岩雄議員



問 タカナの産地拡大を

答 農地の集積と基盤整備を推進する

生産量は平成二十四年度見込みで、面積八十二ha、約三千七百トンで生産、品質ともに日本一と思っている。五年後には百haまで拡大する予定であることから機械化と農地の集積、さらに基盤整備を推進していきたい。

ながら関係機関と連携していきたい。

質問 ごみ処理に対する焼却場、リサイクルセンターの現状と今後の取り組みは。

答 焼却場については、重油を大量に使用する方式であることから、ごみの資源化推進を図りながら稼働抑制体制づくりを進める。その方策としてプラスチック類の油化還元装置も検討していく。

ごみ処理施設の現状は



相良尚彦議員

問 電子カルテ化の推進を

答 システム構築を検討している

質問 地域医療の新しい体制づくりのため、電子カルテ化の推進を図るべきでは。

答弁 地域共有電子カルテを活用したネットワークシステムの構築を検討している。また、五島中央病院の電子カルテ化の計画と連携を図る上でも、公立診療所についても検討していきたい。



資料提供 長崎大学病院医療情報部 准教授 松本武浩

質問 あじさいネットワークシステムは、現在、医療連携が主な利用となっているが、今後、地域完結型医療に向けて福祉・保健予防・介護行政の参加へと拡充していく方向であるので注目し、システムへの参加を検討していく。

答弁 あじさいネットワークは、現在、医療連携が主な利用となっているが、今後、地域完結型医療に向けて福祉・保健予防・介護行政の参加へと拡充していく方向であるので注目し、システムへの参加を検討していく。

質問 ①新図書館に生涯学習センターの設置と還暦式典を開催してはどうか。

答弁 ②学校図書室とのネットワーク体制は。③図書館支援サポート制についての考えは。

答弁 ①新図書館は生涯学習センター的役割・機能も果たせると考えている。還暦式典は大変有意義な提案として検討したい。

②ネットワ

あじさいネットワークシステムの導入を

還暦式典の開催を

質問 ①新図書館に生涯学習センターの設置と還暦式典を開催してはどうか。

ークの構築と相互利用については、学校と協議していきたい。

③管理運営を含め組織化は必要であり検討する。

椿山恵三議員



問 図書館建設市民説明会時の意見は

答 規模、事業費などに対する意見を数多くいただいた

質問 本市は人口減少に歯どめがかからず、高齢化が拡大している。また合併後は、福江地区一極集中が加速し、旧五町の衰退は深刻な状況である。

答弁 その反動が図書館建設計画にも色濃く影響していると思うが、十三カ所で実施した市民説明会の状況は。

質問 市民説明会での賛成意見の多くは教育

加者は、約六百七十名であった。建てかえの必要性については、大方の理解はいただいているが、規模及び事業費並びに維持管理費の財政への影響を懸念する意見を数多くいただいた。また、現計画を進めてほしいとの意見もいただいた。

市民説明会への出席依頼を行ったか

質問 図書館建設の住民説明会及び請願書を市に提出した際に、市長はなぜ対応しなかったのか。

答弁 用件が重なり対応できなかった。

質問 図書館建設の住民説明会及び請願書を市に提出した際に、市長はなぜ対応しなかったのか。

答弁 一市民として説明会の案内をしたが、発言は依頼していない。





宗 藤人議員

問 路線バス運行ダイヤの改善を

答 ダイヤ改編を要望している

質問 現在、福江発一便のジェットフォイルやフェリーに接続できないことから、円滑に接続できる路線バス運行ダイヤの改善をすべきでは。



現在就航しているORC

も県離島振興協議会や県とも連携しながら航空会社に要望していきたい。

質問 昨年九月、十二月定例会の一般質問において、十八歳以下への正規の保険証の発行、短期証の有効期限及び長期とめ置きの問題に対する質問に、検討する旨の答弁だったが、その後の対応は。

質問 共産党市議団は、新図書館建設などについてアンケートを実施し、図書館を利用し



多客期のジェット機就航を
質問 多客期における市民の安全な交通手段の確保のため、ジェットの機が就航が必要と考
答 全日空へ要望し、この年末年始の多客期にはジェット機の臨時便を運航していただ

なお、今夏のお盆後も同様の機材による臨時便就航の確保をいただいている。
質問 現在、ORCでは島民カード以外に運転免許証などでも島民割引の対応を行っているが、全日空でも同様の対応ができないか。
答 これまでも要望した経緯があるが、実際に至っていないこと

江川美津子議員

問 短期被保険証の有効期限等の改善を

答 新年度から改善を図る

市民説明会後の図書館建設の対応は
質問 図書館建設について十三回の市民説明会を開催したが、今後の対応は。
答 市民の意見を総括、集約し、教育委員会としての意見をまとめた上で、市長部局と慎重に協議を進める。

図書館の規模縮小を
質問 多数の市民が利用しやすい図書館は必要だが、図書の充実を図り、費用を削減し将来の財政負担を少なくすべきと考えるが、このアンケート結果や署名運動などに対する市長の見解は。
答 非常に重く受け止めている。



向原安男議員

問 87億円の大型事業の市の実質的な負担額は

答 26億4,700万円

質問 図書館建設における市の実質的な負担は約四億一千万円と試算されているが、図書館建設を含む八十七億円の大型事業の市の実質的な負担額は。

答弁 約二十六億四千七百万円と試算している。

質問 財政問題で心配される委託料と維持管



国体へ向けて改修される中央公園野球場

質問 厳しい財政事情を改善するために行革

答弁 人口減少で維持管理費は減少する。

質問 厳しい財政事情を改善するために行革

答弁 行政改革大綱においては、普通建設事業については、各課から要求のあった事業を振興実施計画に計上して、その中から予算要求を行い、そして、予算査定の中で事業の精査をして事業を決定していく。

また、財政改革プランについては、交付税措置の高い起債を選択するなど、施設完成後の公債費負担とランニングコストについて十分考慮した上で事業を進めている。

中村康弘議員

問 次期市長選への出馬は

答 今期限りで退任する



定の中で事業の精査をして事業を決定していく。

また、財政改革プランについては、交付税措置の高い起債を選択するなど、施設完成後の公債費負担とランニングコストについて十分考慮した上で事業を進めている。

質問 昨年の十二月定例会では、新年度予算等に全力を尽くしたいとのことであったが、三選出馬に対する市長の考えは。

答弁 立候補せず、二期目の今限りで退任したい。

図書館建設の償還計画は

質問 図書館建設事業における償還計画と財政運営に対する考えは。

また、障がい者への配慮や学校との連携など全市民対象の公平・公正な拠点施設であると考えながら施設の機能は。

質問 奥町木場町線とつながり隘路の改良については、特に大荒町「法通院」付近の緊急車両対策が必要と考えるが市長の考えは。

答弁 消防本部に意見を聴取したところ、現状は支障を来たしていないが、地域からの陳情をいただき、地権者と協議の上、判断したい。

隘路の改良を

連携し、校外学習拠点として活用する計画である。

質問 昨年の十二月定例会では、新年度予算等に全力を尽くしたいとのことであったが、三選出馬に対する市長の考えは。

答弁 立候補せず、二期目の今限りで退任したい。



大荒町「法通院」付近の道路

質問 長崎エビッツや椋島沖洋上風力発電による経済効果を考えると、事業終了後も継続して活用できる事業の取り組みが必要では。

答弁 長崎エビッツについては、ITSスポット等情報発信体制の構築とスマートフォン



福江リサイクルセンターの資源ごみ手選別作業

木口利光議員



問 継続的な事業の継続を

答 事業継続を働きかけたい

との相互利用など今後とも観光情報先進地を目指していきたい。

洋上風力発電事業については、環境省による事業終了後も、民間企業による事業継続を働きかけたい。

ごみ処理費用の削減を

質問 真のエコの島と呼ばれるために、市自らごみ減量化やリサイクル率向上の環境政策強化と財政負担軽減の

ために、ごみ処理費用の削減を図るべきでは。

答弁 平成二十三年度は、小型家庭電化製品や金属類を、平成二十四年度は、焼却されていた本やチラシのリサイクル回収を図っていく。

ごみ処理費用については、平成二十二年度で九億五千万円に達していることから、さらに処理費用の軽減に取り組んでいく。

市民と連携した図書館利用計画を

質問 島の人づくり・街づくりの拠点施設として、市民と連携した図書館活用計画の早期策定が必要では。

答弁 現在支援しているボランティアグループを中核として、広く市民に呼びかけ、市民と協働した図書館活用計画を具体化したい。

神之浦伊佐男議員



問 今後の図書館建設計画は

答 平成26年中の開館を目指す

来年十月末に竣工、平成二十六年中の開館を目指していきたい。

次期市長選への出馬は

質問 平成十六年の合併後、財政健全化を大きな柱に掲げ取り組む中で、マグロ養殖の基盤強化、ツバキの振興、世界文化遺産登録の推進、エコアイランドとしての電気自動車などの導入・振興策など職責は果たしたものと評価

するが、次期市長選への市長の考えと今後の取り組みは。

答弁 今期限りをもちて市長の職を辞することとしたが、任期まではしっかりと務めたい。また、今後のことに関しましては、今動き出したマグロ養殖、ツバキの振興、電気自動車などの事業の方向性をさらに推進させてほしいし、そういう本市の未来へエールを送りたいと思っている。

質問 図書館建設の今後の建設計画は。

答弁 図書館建設については、平成二十三年三月に基本設計業務委託の入札を、同年八月に実施設計の入札を行い、現在も実施設計の作業を行っている。

今後の建設計画については、実施設計業務を平成二十四年三月末に完了し、八月に着工、



手狭となっている現在の市立図書館



谷川 等議員

問 図書館建設計画についての考えは

答 市民の意見を踏まえ判断したい

質問 本市においては、二〇一〇年から新図書館整備計画検討委員会を立ち上げ六回にわたる協議の結果、基本計画を了承し答申を受けて、昨年の五月に市議会へも基本計画概要説明がなされ、実施設計に入った経緯がある。また、設計の予算も議会で可決されていることから、その時に指



福江清掃センター

摘があれば実施設計に反映することができたのではないかと考えるが、図書館建設に対する市長の考えは。

答弁 図書館建設計画については、平成二十一年度に市民団体から陳情を受け、市議会からも「願意に沿うように努力された」との結審がなされ計画を進めてきた。現在の計画については、過大、豪華とは決して思っていないが、市民の意見や今議会における論議を踏まえ判断していきたい。

五島関連の歌のCD化を

質問 五島関連の歌をCD化する考えはないか。

答弁 具体的な活用方法も含め今後検討していきたい。

土曜日のごみ搬入受け入れを

質問 清掃センターへのごみの搬入は、祝日の午前中は可能であるが、土曜日の午前中も同様に搬入させることができないか。

答弁 祝日については、これまでどおり受け入れることにし、さらに土曜日の受け入れについても検討する。



網本定信議員

問 国際ツバキ大会までの計画は

答 実行委員会などを立ち上げて準備していく

質問 二〇二〇年に本市で開催される国際ツバキ大会に向けての今後の計画は。

答弁 大会の構想策定のための準備委員会を近々発足して、大会までのスケジュールや大会の概要などを検討した上で、その構想をもとに大会の数年前までには実行委員会などを立ち上げて準備していきたい。



平成22年3月に本市で開催された国際ツバキ会議久留米大会プレッツアー

EVを活用した今後の対応は

質問 EV・PHVタウン構想において、EVを活用した本市の活性化策の計画と今後の対応は。

答弁 この事業の目的が、観光・物産・イベントなど多岐にわたる

人口減少抑止策は

質問 本市の人口減少抑止策は。

答弁 人口減少抑止策については、働く場所の確保、住みやすい環境づくり、交流人口の拡大が最も重要であることから、企業誘致、マグロ養殖、安全安心な生活空間づくり、夕やけマラソンなどの大型イベントの実施、スポーツ合宿の誘致など積極的に展開している。また、国の施策や新しく改正される離島振興法を活用し、人口減少の抑制を図りたい。

情報をタイムリーに取得しながら、ドライブ観光ができることなどで、現在長崎県立大学の協力を得て、市民とのワークショップを開催している。また、将来のビジョンを地元協議会で検討していきたい。

質問 昨年の十二月定例会における一般質問の市長答弁で、「賛同の声は聞くが、反対の声は聞いたことがない」とのことであったが現時点ではいかがか。

答弁 その後いろいろな意見が寄せられたが、建設に賛成の方からの応援の声が多かった。私は現場に割と出向き、一生懸命走り回って

草野久幸議員



問 図書館計画反対の声は聞こえないのか

答 反対意見は私には言いにくいのでは

るので市民は反対の意見を言いにくいのではないか。

質問 図書館建設計画に対する市民の声にどのように対応するのか。

答弁 建設計画賛成、反対の二つの声がある。ここで一度立ちどまり、双方の意見を精査したい。

質問 市長が市民の声が聞こえないのなら、市民の声を聞き市長へ届けるのが課長の役割ではないか。それぞれ

答弁 課長は、反対の声は聞かなかつたのか。それとも市長に言えなかつたのか。

答弁 反対の声は聞かなかつた。(四名の理事が同じ答弁)



図書館建設を考える会からの請願書提出

質問 図書館建設を含めた箱物建設については、見直すべき部分は見直すべきでは。

答弁 図書館建設については、今議会で論議されているように教育委員会でも市民の声を精査している。その他の事業については、振興実施計画を策定する時点の概算事業費なので、予算査定の中で今後精査していく。

片峰 亨議員



問 箱物建設の見直しを

答 今後精査していく

査していく。

違法操業の監視強化を

質問 男女群島、鳥島における外国船の違法操業の監視強化が必要では。

答弁 鳥島近海においては、昨年の十一月と十二月の二回にわたり、不法操業による中国漁船の拿捕が相次いだことから、早速、一月十二日に長崎海上保安部を訪ね、「国境離島の領

海警備等の強化に関する要望書」を提出し、さらなる領海警備の強化と海洋権益の確保について要望した。

本市の財政見直しは

質問 本市の今後の財政の見直しは。

答弁 第二次財政健全化期間である平成二十三年度からの五年間で、五島市財政改革プランに従って計画的な財政運営を行い、財政体質強化に努めている。

また、平成二十七年以降についても収支の改善を図りつつ、財政運営の健全化に努めていく。



肥前鳥島

©「チャレンジャーひりゅう」



古川雄一議員

問 珊瑚漁場調査に対する支援を

答 今後条件が整えば検討したい

質問 本市における珊瑚漁場調査の支援に対する市長の考えは。

答弁 現在、本市には県知事から珊瑚採取の許可を受けた県内唯一の漁業者が富江地区に四隻いるが、実際に漁獲できるのは、折れた状態の枯木と落ち木などであることから、今後、漁場探索などの条件が整えば、関係機関

や漁業者と検討していきたい。

マグロ養殖の利点は

質問 本市において、マグロ養殖の基地化が図られているが、市への大きなメリットはないと思うがいかがか。

答弁 企業の市内への進出に伴い、市民法人税の税収及び地元の雇用も創出し、また、漁

協においては、漁場の行使料、販売手数料、漁業資材販売などの収入がふえ経営の安定が図られている。

漁業者についても、マグロ養殖に九十四隻の漁船が種苗を供給しており、漁獲の少ない夏場に安定した収入を得ることができていることなどから、市の活性化に寄与している。



榎ノ浦のマグロ養殖場

委員会 分科会 の審査

本会議において、各常任委員会に付託された案件は、条例等28件、一般会計当初予算、各種特別会計当初予算、補正予算など21件、請願1件、陳情1件について審議された。

総務委員会

問 防災行政無線整備事業において、防災行政無線の整備がどのような災害を想定しているのか。

また、計画している中継局の基数と設置箇所は。

答 集中豪雨や他国からの武力攻撃などの緊急時の災害を想定しており、この整備により住民への避難指示が瞬時に可能となる。

設置基数については、福江地区に七十五基、富江地区に一基、玉之浦地区に一基、三井楽地区に二十六基、岐宿地区に二十五基、奈留地区に三十三基の合計百六十一基を建てる予定で、建設予定箇所については、現在の避難箇所、消防詰所及び

公共施設並びに孤立箇所を予定している。

問 下五島文化的景観保存調査事業については、平成二十三年度に久賀島全域が国の重要文化的景観に選定され、平成二十四年度も引き続き追加調査を行うこととなっているが事業計画の内容は。

答 具体的な計画についてはこれから検討するが、久賀島の価値を考えると、柵田と椿が考えられることから、これらのブランド化を図り活用していきたいと考えて、特に椿については、五島市全体で椿の島づくりを進めていくことから、これと関連させて事業を進めていきたい。



内幸泊（久賀島）の柵田

文教厚生委員会

問 地域福祉力向上支援事業の目的及び活動内容は。

答 目的は、地域の絆の強化、地域課題の調査研究、ハンディキャップ世帯の支援活動を通して、安全で住みやすい地域づくりなどを行うため各地区に地域福祉協議会を設置する。

補助額は、定額割で一地区四万円、世帯割で五百世帯までが三万円、五百一世帯以上一千世帯以

下が五万円、千一世帯以上二千世帯以下が七万円。

問 保育所等地域活動事業の概要及び一時預かり事業の現状は。

答 一時預かり事業の現状は、福江地区では三カ所を実施、その他の地区は、各保育所が余剰スペースを活用し自主的な事業として行っている。しかし、一時預かり事業未

実施地域である岐宿・三井楽・富江・奈留地区の保育所に限定し補助を行い、受入態勢の充実を図

問 ごみ焼却施設基本計画策定事業の概要は。

答 ごみを多種品目で分別することで、ごみの減量化や維持管理経費などの縮減につながるため、生ごみとし尿処理を利用したバイオマス資源の有効活用策の検討や一般廃棄物処理基本計画を策定する。

問 スポーツ交流人口拡大推進事業の実績及び平成二十四年度の目標は。

答 二十三年度実績は、三月末の見込みで七十七団体、延べ合宿人数千四百八十一名、延べ宿泊者三千二百七十名。二十四年度は、今まで来島した団体等々への再勧誘や指導者の交友関係などへ幅広く声を掛けてもらう。

また、北部九州地区の大学をターゲットに営業活動や案内等に力を入れたい。さらに、住民との交流を図れる場をつくりたい。

経済土木分科会

問 中山間地域等直接支払事業費補助金に関し、事業の積極的な推進を反映するような予算計上をすべきでは。

答 平成二十三年度は、取り組み面積の把握が困難だったため、他の事業を参考に予算計上した。実績は、予算計上面積千五百十haに対し、実績が四百八haであった。

二十四年度は、さらに事業の拡大をめざし、既に各地で説明会を行っている。

問 荒川地区荷捌き施設整備事業の目的は。

答 荒川地区に荷捌き施設がないので、漁業者の経営安定化、労働改善等を目的に、事業主体である五島漁協が荒川地区に荷捌き施設を整備する。

施設概要は、荷捌き所本体、給排水設備及び約三トンの貯氷施設を予定。総事業費は四千三百四十八万一千円。

問 五島市物産振興協会

補助金の計上に関し、組織の概要及び物産展の開催状況は。

答 新組織は、実際に製造・販売を行う企業や個人事業者を会員とする社団法人としての設立を目指しており、物産店開催のほか、ギフト販売、ネット販売、卸業販売等を実施する計画である。二十四年度から五年間補助する予定で、二十九年以降は自立した組織運営を目指している。

開催状況は、二十二年度が長崎、福岡、鹿児島等で十三回、売上額が約五千万円。二十三年度は福岡、大阪等で十六回を予定しており、売上金額が六千万円を上回ると予想している。二十四年度は十六回、二十五年以降は十九回の開催を予定し、固定客を獲得していきたい。固定客を獲得していきながら、物産展の顧客や百貨店等への卸販売の拡大につなげていきたい。



保育所での一時預かりの様子



昨年9月に長崎浜屋で開催された物産展

新図書館の縮小を求める請願採択

図書館建設を考える会から17,081名の署名を添え、13億円の図書館建設計画は撤回し、身の丈にあった規模とすることを趣旨とする請願が提出された。

市立図書館建設については、文教厚生委員会の24年度一般会計予算及び請願の審査において委員からさまざまな意見が出た。

主な意見として、1つ、署名の重みは重要なので市民の意見を十分に聞き、それを踏まえて見直すべきである。2つ、五島市の将来の人口減少などを考慮し、図書館建設に関する予算については撤回し、人口に見合った規模の建設計画を再度提案すべきである。3つ、図書館が過疎債の対象となる期限は27年度までである。予算を取り下げ再検討し市民の合意も得るべき。4つ、今議会の一般質問の中でも、現計画のまま押し進めてほしいという賛成意見と計画を撤回し身の丈にあった施設を建設すべきであるという反対意見がなされた。双方の意見を精査し、どのように調整できるのか協議の時間が必要と考える。そういったことを含め、当初予算については原案を可決し、建設に関する予算の執行保留を条件として承認することを提案する。などの意見が出た。

その委員会審査が終了した数日後、市長から、市立図書館建設事業に関する予算を全額撤回する訂正申出がなされ、建設計画について再考することとなった。

本請願は、本会議において全会一致で請願の趣旨を了とし採択された。なお下記の内容の附帯決議を付した。

13億円の図書館建設計画は撤回し身の丈にあった規模とすることを求める請願に対する附帯決議

図書館建設を考える会から、13億円の図書館建設計画は撤回し、身の丈にあった規模とすることを趣旨とする請願が提出されている。この請願の理由の中で、「建設にあたっては地元業者が設計・施工できる、五島市の身の丈にあった図書館とするよう検討すべき」と記載されているが、「地元業者の設計」と限定した場合、図書館としての適正な規模が確保できるのか危惧されるため、設計業務については、「地元業者」について配慮しながらも、真に適正な規模の図書館建設ができるよう、慎重な調査研究を行い柔軟に対応されたい。



議会広報特別委員会

委員 長	江川美津子
副委員 長	網本 定信
委 員	柿森 弘幸
委 員	木口 利光
委 員	草野 久幸
委 員	相良 尚彦
委 員	古川 雄一

「市民の力で市政を動かすことができた」三月議会が終わって、多くの市民の皆さんが実感しているのではないのでしょうか。

「十三億円の図書館建設計画は撤回し、身の丈にあった規模とすること」を趣旨とする請願が、一万七千八十一名分の署名を添えられて議会で提出されました。

「二カ所に大きな図書館よりも、地区公民館図書室の充実を」、「人口減少が続く市の財政は大丈夫なのか」、「地元の事業

者が直接受注できる規模に」、「離島の子供たちに充実した図書館を」などなど。この請願に賛同する人も反対する人も、それぞれが本市の行政のあり方や将来について考える機会となりました。

私自身も、これまでの議案審査を振り返る機会となりました。

今後の議案審査においては、老後も安心して暮らすことのできるまちづくりができるのか。将来の財政はどうなるのか。行政の監視役としての立場を鮮明にしていきたいと思います。

(江川美津子)

編集後記

インターネット議会中継のお知らせ

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を視聴できます。

ホームページアドレス

<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>